



あなたの心の光で、

東北に一筋（永遠）の光を

チューリップの灯に託して



— 福島に輝く光を —

そうま（相馬）への思いを、あなたの心の光で

[あなたの心の光に代わって、チューリップに託して届けたい]

2014年‘夏’

今年も東日本大震災募金活動を実施いたします。

（地震、津波、原発事故と）未曾有の被害をもたらした東日本大震災から4回目の夏を迎えます。

私たち3JAは、昨年夏、『森が森に、川が川に、田が田に戻るまで』の思いを、

I ♥ SOMA AREA のオリジナル傘にして、1本500円以上の募金活動を行いました。その結果、36万円をJAそうまの復興支援基金に贈ることが出来ました。

その思いは、現地の方々に確実に伝わっています。JAそうまでは、今年の5月に、この支援金を使って組合員、地域の方々にハートの種として‘フウセンカズラ’の種が配布されました。フウセンカズラの花言葉は、「永遠にあなたとともに」です。

現地では、白い花や紙風船のような実を見て楽しむことや、緑のカーテンとして栽培されています。

今年は、昼間の太陽光で発電し、夜に光を灯す、チューリップ型のソーラー電灯による募金を実施することにいたしました。

昨年に引き続き、皆様の、暖かいご支援、ご協力をお願いいたします。

（被災被害の状況：平成26年3月10日現在）

東日本大震災被災の被害状況は、死者1万5884人、行方不明者は2633人（3月10日現在、警察庁まとめ）。避難生活を送っている人は1年前に比べ4万7000人減少いたしましたが、今なお26万7419人おられます（2月13日現在、復興庁まとめ）。また、仮設住宅での生活を余儀なくされている入居者も減少はしていますが、まだ10万2650人（8県で4万6275戸）と10万人を超え、住まいの復興は遅れています。

特に、福島県では原子力災害に伴う帰還困難区域、居住制限区域、避難指示解除準備区域を抱えているため、復旧・復興状況は岩手、宮城両県に比べ遅れています。現在、避難者や被災者の居住の安定を図るため、福島県が中心となり復興公営住宅の整備を進めておられますが、被災者の住環境整備や生活再建にはまだ長い道のりです。